

第70回の節目を迎えた松前さくらまつりは、4月29日から5月14日まで行われ、期間中151,300人の観光客が訪れました。

今年のさくらは、昨年と同じく開花が早まり、大型連休の前半は早咲きの「南殿」、後半には中咲きの「雨宿」、まつりの終盤には遅咲きの「関山」などが咲きほこり、まつり期間中をとおして様々な品種のさくらを楽しめました。

また、毎年恒例の郷土芸能大公開、春の物産フェアなどが行われたほか、堀内孝雄さん、小桜舞子さんのオンステージ、子どもが楽しめる移動ミニ動物園やはたらく車の展示なども行われました。

さくらを楽しむのはもちろん、様々なイベントが行われ、多くの観光客で賑わい、70回目を飾るに相応しいおまつりとなりました。

第70回

松前さくらまつり

元気いっぱいな子どもたち

移動ミニ動物園やダンボール迷路、はたらく車の展示コーナーなど、子どもたちに人気のイベントがたくさん行われ、松前公園は子どもの笑顔であふれていました。



まつりを盛り上げたパフォーマンス

ピエロのぐっちさん、^{みろく}弥勒さん、おえかきっこみゆさん、北海道を代表するパフォーマー3名が、松前公園を回遊し、道行く人々を驚きと感動の世界へ誘ってくれました。



弥勒さん



ピエロのぐっちさん



おえかきっこみゆさん



松前神楽公演・郷土芸能大公開

松前神楽と数々の郷土芸能の迫力ある舞や踊りに会場のみなさんが見入っていました。



STVラジオ公開録音

堀内孝雄・小桜舞子 オンステージ

堀内孝雄さんが名曲「恋唄綴り」などを披露し、小桜舞子さんは歌詞に松前の漁師が登場する「北の花嫁」を披露してくれました。

集まった2,800人の観客は、2人の美声に聴き入っていました。



春の物産フェア

松前の春の味覚が勢ぞろいした「春の物産フェア」。今回は姉妹都市の福島県伊達市がイチゴなどを、愛媛県松前町がそら豆など、旬の味を提供してくれました。



書道パフォーマンス

今年で、7回目を迎えた「書道パフォーマンス」は、松前高校、松前中学校、松城小学校をはじめ、函館市や札幌市内の高校のほか青函交流が進むことを期待し、青森県弘前実業高校など13校が参加しました。

生徒たちは大きな紙に向かい、日ごろの練習で培った書道の技術を発揮し、音楽に合わせパフォーマンスをしました。



響き渡る音色

北海道警察音楽隊&松城小・松前中・松前高校によるコラボ演奏が行われたほか、海上自衛隊大湊音楽隊演奏会が行われ、松前公園内には迫力のある音楽が響き渡りました。

